

日本語ガイド

ノリッジ城は 900 年前に王宮としてノルマン人によって建てられました。現在は博物館、アートギャラリーとして美術 や考古学、自然史に関する優れたコレクションを展示しております。

ノリッジ城の歴史

1066 年、ノルマン人がブリテン島を侵攻し、アングロ・サクソン人を征服した頃（ノルマン人の征服）、ノーフォーク州とサフォーク州はブリテン島で最も人口の多い地域でした。1067 年、ノルマン人は最初の城（木造の要塞）を建てる用地のために、少なくとも 98 戸のアングロ・サクソン人住居を取り壊しました。治安維持と、ノルマン人である征服王ウイリアムに対するアングロ・サクソン人の反乱を防止する目的で、兵士たちがここに居住しました。

この城の土台となった「モット」と呼ばれる人工の丘は建設当時、国内で最大級のものでした。現在のこの大規模な石造りの建物（要塞）は、もともと約 93,000 平方メートルにも及んだ城のほんの一部でした。敷地内には居住区や産業地区、家畜の牧草地がありました。石造要塞の建設は 1094 年頃ウイリアム 2 世（征服王ウイリアムの息子）によって始められ、1121 年にその弟である次代王ヘンリー 1 世によって完成されました。要塞の建設には、莫大な費用をかけてフランスのカーンから船で運ばれた石灰岩が使用されました。

この要塞は王宮として設計されたにもかかわらず、どのノルマン王も住むことはありませんでした。ヘンリー 1 世がこのノリッジ城に唯一滞在したとされているのは 1121 年のクリスマスの間です。城は住居としてではなく、市内とその周辺地域のノルマン人による支配の拠点として使われました。

牢獄としてのノリッジ城

1345 年頃、この城は牢獄となり、その後 500 年以上拘置所として使用されました。ジョン・ソーン卿によって設計された新しい専用刑務所が 1792～93 年にかけて要塞内とその周辺に建設されましたが、やがて不足状態となり、

1822～27年に3つ目の拘置所が建設されました。これは刑務所の過密を減らし、罪状の異なる囚人が一緒になるのを避けるためで、建築家ウィリアム・ウイルキンスによって設計されました。最後の拘置所は現在の博物館及びギャラリーとなっています。

城の改装工事

ノルマンディー産の石灰岩を使用した要塞の外側は、長い年月の間に雨風によって磨滅しましたが、1834年、アンソニー・サルバンの手によりイングランド西部のバースで取れた石灰岩に張り替えられました。従来の要塞の外観を保つ方法の一つとして、サルバンは石灰岩に線を切り込んで、元の石ブロックそっくりに仕上げました。こうして建物の外観は現在のものに変化を遂げました。

博物館としての城

1883年、州刑務所は現在のノリッジの Maus Hold・ヒースに移されました。かつての刑務所だった建物が博物館として1894年に開館して以来、ノリッジ城は様々な変化を遂げており、現在も常に近代化を続けています。当博物館の展示品は、政府から優れた国家遺産として高い評価を得ています。

キャッスルモール・ショッピングセンターの建設

1990年代の始め、城の周辺ではキャッスルモール・ショッピングセンター建設のための発掘作業が行われました。これには考古学者も参加し、ヨーロッパ内で最大級の発掘調査となりました。ノリッジの歴史に関連した興味深い遺物が多く発掘され、その一部は現在当館に展示されております。

博物館内での見学

要塞

中世の城での生活や、囚人が置かれた状態が、時代と共にどのように変化したかを学ぶことができます。

ブーディカとイケニ族

偉大な戦士として知られるイケニ族の女王ブーディカが、どのようにブリテン島をローマ人による侵略から守ろうとしたかを発見することができます。

コットマン&クロームアートギャラリー

ノーフォーク州の広大な空、平坦な田舎風景、そして多様な海岸線に感化されたノリッジ画派の画家達による最大の風景画コレクションを鑑賞することができます。

ティーポットギャラリー

世界最大級の英国ティーポットのコレクションを見学することができます。

装飾美術

地元ノーフォーク州でつくられた銀製品、ガラス細工、織物、ローストフト磁器等を見学することができます。

自然史

バードギャラリーではブリテン島に生息する殆どの種の標本を展示しております。これらの多くは、研究資料として鳥の採集が承認されていた 19 世紀のもので、ビクトリア朝時代の人々が自然科学(はく製術)の研究のため、どのように動物を保存加工したのかを学ぶことができます。またマーガレット・ファウンテンにより寄贈された 24,000 匹の蝶のコレクションの一部も見学することができます。

エジプトギャラリー

展示されている人工遺物の多くは 2,500~4,500 年前の古代エジプトの墓から発掘されたものです。1928 年に英国王ジョージ 5 世から贈られたアネクホルのミイラも展示されております。

アングロ・サクソン&バイキングギャラリー

イースト・アングリア地方がアングロ・サクソン人の支配下で、その新しい言語や文化、服装を取り入れて、どのように独立した王国になったのかを発見することができます。現在のイングランドで最も重要なコレクションの一つです。

お願い

ギャラリーによっては写真撮影が可能です。フラッシュの使用は禁じられています。またギャラリー内でのご飲食はご遠慮ください。

城内施設

お買い物

城内のミュージアムショップではギフト類、書籍、絵葉書、工芸品、お土産品等を多数取り揃えております。

カフェ

城内のカフェでは各種紅茶、コーヒー、軽食などをご用意しております。

荷物預かり所と化粧室

正面玄関入ってすぐの荷物預かり所では、貸ロッカーやベビーカー収納ラック、鍵付コートハンガーの設備がご利用いただけます。化粧室と乳幼児専用ルームは案内表示されおり、ロタンダの左手にあります。

ピクニックルーム

週末、及び学校休暇の期間はピクニックルームにてご自由にご飲食をお楽しみいただけます。ピクニックルームは2階ロタンダバルコニー奥の、エジプトギャラリー左手にあります。

各種案内やお手伝いが必要な場合は、館内のスタッフにご遠慮なくお尋ねください。スタッフ一同、皆様にお楽しみいただけますよう努めております。どうぞ本日の見学をお楽しみください。そしてまたのご来館をお待ちしております。

Norfolk Museum & Archaeology Service
Shirehall, Market Avenue,

Norwich, NR1 3JQ
Telephone:01603 493625
Email: museums@norfolk.gov.uk
www.museums.norfolk.gov.uk

Text translated in the context of the *Professional Practice* Translation Work Experience module by students in the School of Politics, Philosophy, Language and Communication Studies, University of East Anglia, Norwich, UK (<https://www.uea.ac.uk/ppl>)